



しらやま

白山小学校だより No.25

令和2年10月19日

◇◇◇ いもほりをしました ◇◇◇



15日(木)、地区老人会の加藤さんと山野さんにお手伝いをいただきながら、1・2年生が春から育ててきたさつまいもの収穫をしました。今年は雨の日が多かったのですが、さつまいもがちゃんと土の中で育っているか心配でしたが、子どもたちが土を掘り進めていくと「大きい!」「すごい!」などの歓声があちこちから上がりました。お礼の場面では、「大きなさつまいもがとれてうれしかったです。」「思ったよりもたくさんとれてよかったです。」「いろいろな形があって驚きました。」「といった感想が聞かれました。子どもたちは次から次へと出てくるさつまいもに目を輝かせながら、楽しく収穫ができたようです。22日(木)には、とれたさつまいもで焼きいも大会をします。



◆◆◆ クマの出没が相次いでいます ◆◆◆



嶺北地方を中心に、ツキノワグマが人里に相次いで出沒しています。越前市内でも先週は、和紙加工場内に入り込んでいたり、民家のガレージや住宅裏の空き地にいたりしたという情報がありました。また、15日(木)早朝には福井市の商業施設近くの住宅街にまで出てきたのには驚きました。今年も人身被害が出ていますが、民家やその周辺にクマが餌を求めて姿を表すことも多くなっています。これはクマの餌となる山のドングリ類の実りが大きく影響していますが、山際に住む「里クマ」が増えてきていることも関係しているらしいです。餌が少なければ奥山に暮らすクマは下り、里クマはさらに下って餌を求めてまちへ出るということです。いずれにしても、このところクマが市街地や日中に出沒するなど大胆な行動が目立ち、県は「例年にも増して危機的な状況」と、対策に万全を期すように呼びかけています。

学校では、子どもたちの登下校や校外学習の際にはクマの出沒に十分気をつけるように指導をしますが、ご家庭でも今日配付いたしました資料「秋。クマから身を守る基本」(福井県警察本部)や「ツキノワグマによる人身被害防止のために」(福井県ホームページ)等を参考に、注意喚起をお願いできればと思います。

- クマに遭わないための行動 → クマの餌になるような実(柿や栗、木の実など)がなるところは避ける。
- クマと遭遇したときの対応 → 落ち着く、大声を出さない、ゆっくり後退する。
- 出沒のおそれのあるところ → クマ鈴や防犯ブザー、笛などを携帯する。